

第43回 海洋開発シンポジウム(2018)

前日シンポジウム

「海に向かった観光金沢の次なる飛躍」

主催：土木学会（担当：海洋開発委員会）

期日：2018年7月4日（水）15時～17時

場所：金沢東急ホテル 5F

JR 金沢駅から路線バス 10分（香林坊下車）
徒歩 2分

【趣旨】

クルーズ船を利用した観光需要は近年増加の傾向にあり、国内外の観光客の誘客手段としてクルーズ船の誘致は重要な位置づけにあるといえます。石川県でもクルーズ船の誘致を積極的に展開し、金沢港への昨年度のクルーズ船の寄航は50隻を越え、今後も寄航船の増加が期待されています。

本シンポジウムでは、クルーズ船がもたらす港の賑わいの創生およびその経済波及効果について学術的および実務の観点から既往の研究成果および港の賑わい創生をレビューすることに加えて、金沢港の整備・運用、さらに金沢市の観光政策に関する方針等を紹介しながら、金沢港の賑わい創生と経済波及効果の実現に向けた課題と対策に関する提言を行うものです。

【プログラム】

1. 基調講演：高山 純一 教授（金沢大学）（20分）

2. パネルディスカッション：（90分）

オーガナイザー 小橋川嘉樹（株式会社電通デジタル デジタルプランニングディレクター）

パネラー 高山純一（金沢大学教授）

堀川 悟（株式会社カーニバルジャパン 代表取締役社長）

川崎智也（東京工業大学助教）

畠田繁実（北陸地方整備局 金沢港湾・空港整備事務所長）

久保光夫（石川県商工労働部 港湾活用推進室次長）

上出憲之（金沢市経済局観光政策課長）

